

季節性

インフルエンザ ワクチン 予約受付中



例年であれば、冬季に流行するインフルエンザですが、今年は9月上旬から県内でも患者報告数が急増しています。

予防接種を行うことで、発症の可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。

ワクチン接種から実際に効果を発揮するまで2週間程度かかるため、接種を希望される方は早めにご予約ください。(接種は完全予約制)

接種日程	10月16日(月)～12月23日(土) 14:00～16:00(金曜日を除く)
対象	生後6か月以上のすべての方 *高齢者、心臓・腎臓・肺など重要な臓器に基礎疾患がある方、妊娠中の方は重症化しやすいため接種をご検討ください
接種回数	生後6ヶ月～12歳は2回 13歳以上は1回
費用	4,000円(税込)／1回 ※自治体により助成制度あり
予約方法	① 電話 04-7099-1111 8:00～17:00(日曜・祝日除く) ② WEB 亀田クリニックのホームページからお申込みください



今年2月、新たに鼻にスプレーするタイプのインフルエンザワクチン(接種対象:2～18歳)が厚生労働省によって承認されました。従来のワクチン注射に比べ、接種が1回で済むほか、鼻にスプレーするだけなので、注射の痛みに敏感な方も安心して簡単にワクチン接種ができるメリットがあります。ただし、製造は来年度からとなります。今シーズンの提供はありませんのでご注意ください。

スチューデント セミナー Student Seminar 2023 開催 臨床検査技師の仕事体験

医療職をめざす高校生を対象とした「Student Seminar 臨床検査体験」(協賛:アボットジャパン株式会社)が今夏も8月21日(月)と8月28日(月)の2回にわたって開催され、3校(長狭高校、安房高校、茂原高校)11名の高校生が、臨床検査技師の仕事体験しました。



このセミナーは、病気の診断や治療に欠かせない検査を専門に行う臨床検査技師の仕事を通して、医療を支えるさまざまな職業に目を向け、進路の参考にしてもらうことを目的に2012年からスタートしたもので、今年で早12回目を迎えます。

セミナーでは2～3人ずつの班に分かれ、当院スタッフ指導のもと、採血検査や心臓超音波検査、血液・輸血検査を体験。参加した高校生からは、「臨床検査技師をしている親の仕事体験でき楽しかった」「臨床検査技師の仕事に更に興味を持つことができた」「採血がいちばん難しいだろうと予想していたが、エコー検査がとても難しくて驚いた」などの感想が聞かれました。



bayfm 「MEDICAL UPDATES」

FM ラジオ局ベイエフエム『it!!(イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

10月は亀田IVFクリニック幕張の勝又翔子医師がこれから妊娠を考えている方とご家族に向けて、知っておくべきワクチンや感染症の情報、栄養や血圧・体重・生活習慣管理についてお話しします。





前号では、外来受診中に大規模地震・津波が発生した場合を想定して、とるべき行動などをご紹介しました。今号では、台風・豪雨災害へ備えをご紹介します。

台風・豪雨災害に備える



今の時期は台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮等による自然災害が発生しやすい季節です。台風や豪雨は、警報などの防災気象情報を利用して、被害を軽減することが可能です。日頃からニュースなどの台風や大雨特別警報情報に関心を持ちましょう。

《日頃から準備できること》

■ 治療に関すること



人工呼吸器や胃ろうなど医療的ケアを必要とする方や在宅酸素療法を実施している方、人工透析をしている方、慢性疾患でおかかっている方などは、あらかじめ災害時の対応について主治医と確認しておきましょう。

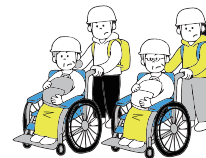
その他、糖尿病や腎臓病、食物アレルギーなど、病気のために食事療法を行っている方は、治療用の特殊食品を多めに用意しておきましょう。また電気を使う医療機器が停電時でも使えるようにガソリン式発電機・蓄電池・車からの給電など電源確保の方法も考えておくことが大切です。

■ 薬剤や医療物品に関すること

服用中の薬や治療に必要な医療物品は、緊急時にすぐに持ち出せるようまとめて準備しておきましょう。疾患によっては、薬の中断による体への影響が大きいものがあります。ご自身の飲んでいる薬は中断すると体にどのような影響があるのか、主治医や薬剤師に確認し、常に手もとに1週間分が残るよう計画的な受診を心がけましょう。

また、大規模災害などで受診が困難な場合、おくすり手帳やアプリ(電子版おくすり手帳、医療情報管理アプリ[NOBORI]※)でいつも飲んでる薬を確認できれば、避難所などで災害処方箋が発行される場合があります。そのほかスマホで薬や処方箋、薬を包装しているPTPシート(使用済み)などの写真を撮影し、画像保存しておくことも有効です。
※1年以上前の情報を閲覧するにはNOBORI定額購入への登録が必要です。

■ 避難に関すること

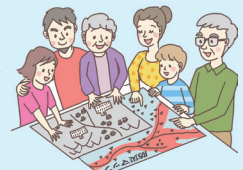


自治体が定める自宅近くの避難所の場所と避難所までの移動手段(歩いて行けるか、人の助けが必要か)を確認しましょう。実際に避難所に行ってみることが大切です。一人で避難することが心配な方は近所の方と日頃より連絡を取り合って、避難する時には手伝ってもらいましょう。また、お住いの自治体に相談し「避難行動要支援者名簿」に登録しましょう。

■ 早めの避難で命を守る

台風の接近や豪雨の予報が出された場合は早めの避難を考えましょう。雨や風が強くなってから、または夜間の避難は非常に危険です。避難所にいれば近所の人や市の担当者がいますので何かと相談に乗ってくれるでしょう。

南房総は高齢者が多い地域です。一人で頑張るのではなく、近所の方や市の職員などの協力を得て、命を守るようにしましょう。



医師紹介

せき くるみ 医師
関 来 未

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①臨床病理科
- ③食めぐり
- ④正確かつ迅速に診断ができるように努めます。日々探求心をもって診療したいと思います。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>